

外国人から見た日本での生活と就職・就業 在住外国人へのアンケート結果から

1 生活の場としての日本

(1) 日本に住むことの魅力(経済産業省「内なる国際化研究会」報告書(H28年3月)より)

◇ 82.7%の外国人(外国人留学生・元留学生)が魅力的と評価

(2) 日本での日常生活に関する不安等(在住外国人に対するアンケート<石川県調査>)(国土交通省資料より)

- ・言葉が通じないこと (32.3%)
- ・文化や習慣の違い (20.2%)
- ・母国語で書かれた情報が少ないこと (19.5%)
- ・病気やケガをした場合の対応 (18.4%)
- ・地震等の大災害が起きた場合の対応 (15.6%)

(3) 行政への要望(新潟県在住外国人アンケート調査(平成16年))(国土交通省資料より)

- ・職業の斡旋や相談受付 (37.9%)
- ・日本語教室の開催 (37.4%)
- ・病院での外国人への配慮(外国語での表記・対応) (35.9%)
- ・外国人も参加できる交流事業や公民館活動 (34.9%)
- ・事故や災害など緊急時の対応の充実 (31.8%)
- ・外国人から意見を聞く機会 (30.9%)
- ・外国語による生活関連情報の提供や外国語での生活相談 (30.4%)
- ・入居が容易な公営住宅の整備及び民間賃貸業者への啓発 (29.6%)

(4) 行政が推進すべきこと(平成17年度県民アンケート調査<新潟県調査>)(国土交通省資料より)

- ・外国人に対する日本の文化や生活習慣の講座の開催 (56.3%)
- ・外国人に対する法律・地域のルールなどの情報提供 (54.6%)
- ・外国人に対する日本語教育の充実 (31.7%)
- ・外国人住民への就労の斡旋・不法就労の防止 (27.3%)
- ・外国人への差別や偏見をなくすための、日本人を対象としたセミナーの開催 (21.9%)

2 働く場としての日本(経済産業省「内なる国際化研究会」報告書(H28年3月)より)

(1) 日本で働くことの魅力

◇ 49.9%の外国人が魅力的でないと評価(22.0%の外国人が魅力的と評価)

(2) 日本での就職・就業に関する不満等

① 日本での就職活動の問題点(主なもの・複数回答)

- ・日本の就職活動の仕組みが分からない (33.1%)
- ・入社後の仕事内容が明確に示されない (32.2%)
- ・業界研究や企業研究の仕方が分からない (27.1%)
- ・外国人向けの求人が少ない (19.5%)

②日本企業への不満(主なもの・複数回答)

- ・昇進する見込みが感じられない (大企業 35.6%、中小企業 22.0%)
- ・給与が低い。給与がなかなか増えない (大企業 27.1%、中小企業 34.0%)
- ・希望する仕事につけない (大企業 27.1%、中小企業 24.0%)
- ・キャリアパスに対する考え方が会社と自分とで異なる (大企業 22.0%、中小企業 20.0%)